

みんなでつくる「桜苑祭」 バザーの収益は地球のために

日本大学高等学校 生徒会「桜苑祭」実行委員会

日本大学高等学校・中学校の生徒たちが楽しみにしている学園の一大イベント、それが毎年9月に開催される「桜苑祭」です。

「桜苑祭は、中学1年生から高校2年生までの生徒会メンバーが実行委員となって、企画から広報、運営まで生徒が中心になってつくりあげています。年に一度のみんなの発表の場です」(平成21年度実行委員長・北村菜穂さん)

しかし、昨年は新型インフルエンザの影響で思わぬ事態に。桜苑祭の開催直前に延期が決まり、2日間の日程も1日に短縮され、1か月遅れての開催となりました。「中学校が全クラス休校になり、これ以上の蔓延を防ぐための苦渋の決断でした」(教頭・野澤拓夫先生)



平成21年度桜苑祭実行委員会の皆さん

「夏休みの間、待ち遠しく思いながら準備を進めていたのに、それまでの苦労が無駄に…」(実行委員・山田知里さん)

「ご案内をしていた学校外の方にも延期を伝えたり、注文した商品をキャンセルしたり、対応も大変でした」(実行委員・深津萌子さん)

「桜苑祭の仕事をするのは初めてで、仕事を覚えるのに精一杯な中、バザーの商品の値付けを前日の1日でやらなければなら大変でした」と話すのは社会福祉バザー担当の宮腰隼人さん。毎年大盛況のバザーも、昨年は1日の開催となりました。

「当日の販売は後援会の方々にも手伝っていただいたので助かりました。例年より人通りの多い場所に会場を設けられたせいか、お客さんの数もいつもより多く、品物のほとんどが売れました。バザーの収益は、2003年から毎年、地球環境基金に寄付しています」(宮腰さん)

「生徒会では、ある生徒からの提案で始めたペットボトルのキャップの回収もしています。ゴミ箱の横に並べられた回収ボックスは、みんなの協力ですぐにいっぱいになるんです」(北村さん)

「生徒たちには、身近なところから地球環境に対する意識をもって、できることから行動してほしいですね。寄付金は、彼らが大人になった未来も安



多くの人でにぎわうバザー会場

心して過ごせる地球環境を守るための活動に役立ててほしいです」(生徒会指導部主任・大平岳詩先生)

学校創設80周年を迎える2010年桜苑祭のテーマは「ヒストリー」。彼らは地球の未来にどんなメッセージを残すのでしょうか。



ペットボトルのキャップは途上国の子どもたちのポリオワクチン代に。800個で子ども1人の命が救える

KIKIN NEWS 基金ニュース

◆ 新規の募金方法のご紹介



クレジットカード決済による募金を開始いたしました

地球環境基金では、これまでに銀行振込や募金箱の設置によって、皆様から多大なご協力をいただいております。

ご支援いただける方のチャンネルをさらに広げていくため、2010年7月1日よりクレジットカード決済による募金を開始いたしました。下記のURLからVISA、Masterのクレジットカードで、オンラインでご寄付いただけます。

☞「クレジットカードを利用した寄付」のページ

<http://www.erca.go.jp/jfge/donation/raise/creditcard.html>

今後とも、地球環境基金への温かいご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

日本大学高等学校・日本大学中学校

昭和5年、「日本大学第四中学校」「日本大学第四商業学校」として開校。昭和23年に新制の「日本大学高等学校・日本大学中学校」が誕生。平成16年に完全男女共学化。教育理念は「自主創造」。

〒223-8566 神奈川県横浜市港北区箕輪町2-9-1
<http://www.nihon-u.ac.jp/orgni/yokohama>

